青森・岩手県境不法投棄に係る調査概要とその結果

〈平成１２年度〉
汚染実態調査

・事業場の地形及び廃棄物の概況調査
・電気伝導度測定調査
・表層ガス調査
・ボーリング調査（８地点）

・周辺環境影響調査（水質モニタリング調査）

〈平成１３年度〉
汚染実態追加調査

・地下水流向流速調査（岩手県合同調査）
・空中物理探査（現場一体調査）
・高密度電気探査
・ボーリング調査（７地点）

・周辺環境影響調査（水質モニタリング調査）

〔調査結果の概要〕

① 主な廃棄物は、焼却灰、堆肥、汚泥、ＲＤＦの４種類
② 不法投棄廃棄物の推定量は、約６７万m^3
③ 現場全体において、揮発性有機塩素化合物による汚染を確認
④ 堆肥様物からの汚染水は、不透水層の上部で拡散
（汚染水による周辺環境への影響が懸念）
⑤ 周辺環境の水質調査の結果、環境基準を概ね満足
⑥ ダイオキシン類による高濃度汚染廃棄物を一部確認
⑦ 現場内に数万年前の小規模な地すべりの可能性
⑧ 町の旧水道水源の電気伝導度が上昇傾向で推移
（現場水質との相関関係調査）

〔専門家提言内容〕

① 囲い込みによる汚染拡散防止対策を講ずること
② 現場からの汚染水処理のための水処理施設を整備すること
③ 現場内の地盤の透水性を十分把握すること
④ 高濃度汚染廃棄物量等の把握調査を行うこと
⑤ モニタリング調査を継続して実施すること
（１１ヶ所のモニタリング調査を年４回継続）

〈基本計画（囲い込み）策定調査〉

① 地形測量；現場周辺測量
② 水処理施設調査；基礎地盤の地質調査（鉛直ボーリング等）
③ 地盤透水性調査；地盤の性状調査（鉛直、斜めボーリング等）
④ ダイオキシン類調査；汚染分布調査（鉛直ボーリング調査等）